

科目名	臨床心理学概論			ナンバリング	PSY422	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	窪田文子	担当教員					

授業の概要	本授業では、心理学の一領域である臨床心理学とはどのような学問領域であるのかについて理解することを目的とする。さらに臨床心理学の成り立ちや代表的な理論的立場、不適応状態の理解、臨床心理学的査定の方法、心理の専門家の職務や教育・研修などについて概説する。						
到達目標	1. 悩みや心配事といった心の状態がどのようにして生じるのかについて、中心的な考え方を説明できる。 2. こころの健康を回復し、維持、さらには促進する方法について日常生活を送るうえで活用できるような具体的な方法を説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	授業で提示するスライドをノートに単に書き写すだけでなく、それに関する説明についても自分なりに工夫してメモし、内容を自分の言葉で説明できるようになることがのぞましい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 臨床心理学の特徴について説明できる。 2. 臨床心理実践で用いられる心理査定目的について説明できる。 3. 臨床心理面接の代表的な理論について説明できる。	1. 臨床心理学の特徴について、他の心理学と比較させて説明できる。 2. 臨床心理実践で用いられる心理査定目的について医学的診断と対比させて説明できる。 3. 臨床心理面接の代表的な理論についてそれぞれを比較させながら説明できる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○		○				40%
授業態度・授業への参加							
最終レポート	○	○					60%
出席							遅刻や欠席は減点となることがある。

課題、評価のフィードバック	1. 毎回授業後に提出を求める振り返りのレポートについては、manabaを通してコメントする。また質問や疑問がでた場合には、次の授業でフィードバックする。 2. 最終レポートについては、学生の要請があった場合いつでも開示できるように準備しておく。
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	臨床心理学の歴史	臨床心理学の特徴を心理学の他の領域と対比させて解説し、臨床心理学の成り立ちについて概説する。	
	第2回	臨床心理学の専門性	臨床心理学の専門家の実践領域やそれぞれの場における専門性について解説する。	
	第3回	臨床心理面接について	臨床心理面接の目的やそのプロセスについて概説する。	
	第4回	臨床心理査定について	臨床心理査定の目的、医学で行う診断との違いについて、臨床心理査定法の方法について解説する。	
	第5回	臨床心理学の理論1	精神分析などの力動論の見方について解説する。	
	第6回	臨床心理学の理論2	行動療法や認知療法などの学習理論の見方について解説する。	
	第7回	臨床心理学の理論3	クライアント中心療法がよって立つ、人間性心理学の見方について解説する。	
	第8回	臨床心理学の理論4	家族療法などのシステム理論の見方について解説する。	
	第9回	適応問題の理解1	不登校・いじめなどの学校における適応問題の理解とその対応について解説する。	
	第10回	適応問題の理解2	家庭における児童虐待や発達障害の理解とその対応について解説する。	
	第11回	適応問題の理解3	不安障害の理解とその対応について解説する。	
	第12回	適応問題の理解4	中年期・老年期の心理的問題とその対応について解説する。	
	第13回	臨床心理学における研究	臨床心理学における研究法や臨床心理実践に関する効果研究について解説する。	
	第14回	臨床心理学の専門家について	臨床心理実践の専門家である公認心理師や臨床心理士の職務や教育・訓練について解説する。	
	第15回	まとめ	14回の学修を基に、臨床心理学について理解したことをレポートにまとめる。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。		
授業外学習の指示		授業後はノートを見返して内容を整理し、わからない所は調べるなどして復習し、次回の授業に臨むこと。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	教科書を使用しない。
参考書	下山晴彦(編)(2009)よくわかる臨床心理学 ミネルヴァ書房
参考URLなど	
その他	